

日本遺伝カウンセリング学会研修委員会からのお知らせ

2025年度『遺伝カウンセリング研修会』の開催形式を更に参加しやすく変更します！

臨床遺伝専門医と認定遺伝カウンセラー有資格者が、臨床遺伝専門職として領域横断的に遺伝医療に対応できる遺伝カウンセリングの技術と態度をロールプレイ（RP）演習を通じて磨く『遺伝カウンセリング研修会』をより参加しやすくするために、2025年度から開催形式を以下のように変更します。

（変更点）

1. 2024年度は、基本4領域全ての事例をRP演習で学ぶことができるWEB開催プログラムを、土曜日・日曜日の連続2日間提供し、1日のみの参加も可（臨床遺伝専門医と認定遺伝カウンセラーの更新単位は1日参加毎に計上）としていました。

2025年度からは、WEB開催はそのまま、日曜日1日で2領域の事例をRP演習で学ぶプログラムとします。このため、基本4領域の事例の網羅には2年間を要する、1クール・2年の形式になります。

臨床遺伝専門医・認定遺伝カウンセラーの更新単位は、それぞれ5単位、4単位（1日参加）の予定です。

（2024年度のプログラムを引き継ぐ点）

2. 遺伝カウンセリングのRP演習に特化した研修会として、オンデマンド講義は、日本人類遺伝学会ホームページのWebCast上で視聴可能な「事例（2症例）」、「遺伝カウンセリング」、「ロールプレイ実習」の基本講義のみです。

3. RP演習では、グループ内でのフィードバックや全体での討論時間を十分取ることで臨床遺伝の有資格者である参加者の学びの共有や理解の深化につながるようプログラムを工夫します。

4. 研修会の対象者は、これまで通り、臨床遺伝専門医または認定遺伝カウンセラーの有資格者です。

2025年度は、7月6日（日）9:00-15:00に、筋強直性ジストロフィー（成人領域）・習慣性流産（周産期領域）の2事例で実施する予定です。

みなさまには、募集開始の告知をお見逃さないよう、ご参加をお待ちしております。

日本遺伝カウンセリング学会研修委員会 委員長 井本逸勢 山本佳世乃